

2021年度 「主体的な学び」に向けて

2021年（令和3年）4月1日

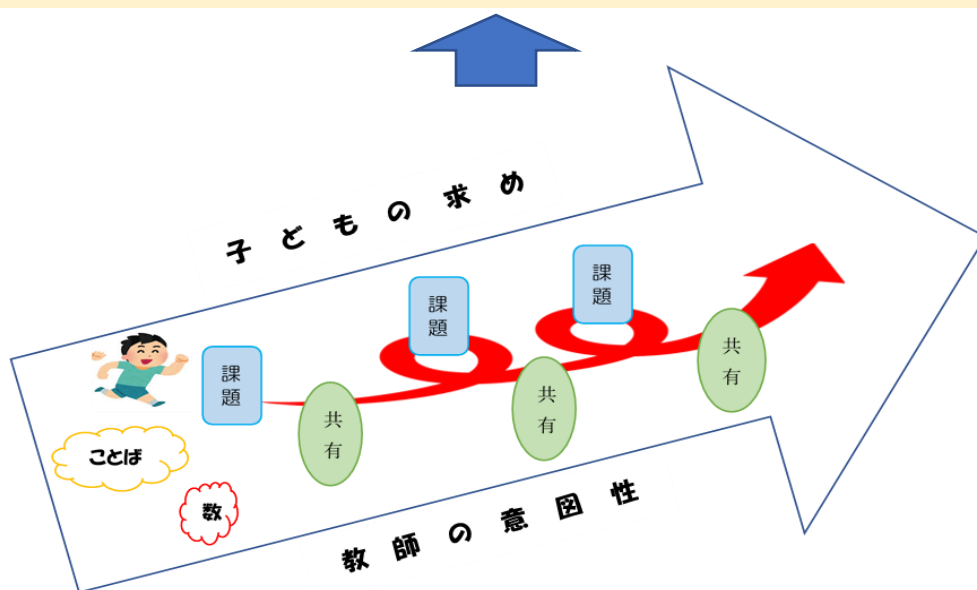
研究主任 青山千鶴

めざす児童の姿

「なぜ？」と思い続ける
児童
(課題発見ができる)

自分で学び続けることができる
児童
(課題解決に向けて計画・選択
できる)

学びが楽しいと思う児童



児童の実態・発達段階に応じて繰り返し行っていく

○児童に明確な目的意識を持たせた学習

○交流から共有へ
(児童の内面への働きへ)

○学びの振り返り
(単元ごとに児童自身が学び方を見つめ、振り返る)

・ゲームを通した ことば・数の理解・習得
(授業の始め5分やパワーアップタイムを活用)

※これらのことを それぞれの教師が工夫して取り組み、共有し「主体的な学び」についてさらに質を上げていく。

共有とは

- ・強化…やはり自分の考えがよかった
- ・添加…こんな考えが付け足された
- ・拡張…気付かなかったことが見えてきた
- ・転換…自分の考えが違う方向に変わった
- ・昇華…次元・レベルが変わった

自分の考えにどう加わるか
児童自身がこのような変化を自覚すること